

『臨床美術ジャーナル』執筆規程

1. 論文は内容および研究手続き全般において、人権の尊重に十分配慮されたものであること。
2. 論文は未刊行のものであること。
3. 使用言語は原則日本語または英語とする。なお、執筆者の母語以外の言語で書かれた原稿（要旨を含む）は、執筆者の責任において当該母語を母語とする者に校閲（ネイティブチェック）を受けた後に提出すること。
4. 論文の構成は、表題、著者氏名と所属、要約、問題（または目的）、方法、結果、考察、引用文献と和文要約、英文要約からなることを原則とする。
5. 論文の執筆は、以下の事項に留意して行う。
 - （1）本文は原則として「である」調で書き、常用漢字、現代かな遣いを用いて、簡潔、明瞭に記述する。
 - （2）原稿はMS-Wordで作成すること。用紙は英文・和文ともにA4版横書きの設定とし、読みやすい文字数、行数とし、ページ番号をふる。手書き原稿は認めない。
 - （3）和文は11ポイントの活字で1ページあたり38行程度、英文は11ポイントの活字で1ページあたり25行程度の記載量とする。
 - （4）原稿の長さは写真、図、表、参考文献など全て含めて、「原著論文」は、和文の場合10ページ、英文の場合15ページまでとする。「研究報告」、「実践報告」、「総説」は和文の場合6ページ、英文の場合10ページまでとする。但し、編集委員会が認めた特殊な原稿はこの限りではない。
 - （5）図表は挿入部分を原稿内に指示し、別ファイルとしてそれぞれ通し番号（図1、図2、表1、表2等）を付けること。ファイル形式は、MS-PowerPoint、TIFFまたはJPEGを原則とする。必要に応じ（注）をつけてもよい。
 - （6）本文中の章、節、項には、それぞれⅠ・Ⅱ・Ⅲ…、1・2・3…、（1）・（2）・（3）…、の番号で表記すること。箇条書きの番号には①・②・③…とする。
6. 他の文献等より図・表などを転載する際には、掲載前に著作権者の了解を得ておくこと。その際には出典（著者名、書名・論文名、雑誌名、発行年、ページ、発行所・発行地）を引用箇所に示すこと。
7. 引用文献は本文中に番号で場所を指示し、原稿の末尾にまとめて記載する。論文末尾の文献一覧には、本文中で直接・間接引用または出典引証された文献（すなわち引用文献）のみを含めること。

論文作成に際し参照したが文中で引用のない文献（すなわち参考文献）は文献一覧に含めない。
8. 著者校正は、その際、修正範囲（加筆・訂正）は植字上の誤りによるもののみとし、内容に関する加筆・修正は原則認めない。再校以降の修正は編集委員会に一任する。
9. ファイルは電子メール添付にて送付し、その際のデータの総容量は、図表データを含め10MB以内とする。10MBを超える場合は、データを分割して送付するか、事務局まで問い合わせる。

【原稿送付先・執筆に関するお問い合わせ先】
臨床美術学会事務局（制作担当）
大村印刷株式会社内 制作担当宛て
〒105-0013 東京都港区芝1-9-3 芝マツラビル1F
Tel:03-6459-0066 Fax:03-3436-5455
E-mail:clinical-art@med.omura.jp